

## 順路2 子どもの発達と起こりやすい事故

子どもの事故は、発達と密接な関係があります。

起こりうる事故を事前に知っておくことは事故やけがを予防することにもつながります。。

子どもの発達と起こりやすい事故			
おねんねの頃		頭や手を動かしますが、まだ自分では移動はできません。大人の見まもりが必要です。	 うつぶせおや布団での窒息  ベッドカーペットでの転落やけが  熱いミルクでのやけど
ねがえりの頃		子どもはどんどん成長していきます。まだまだできないと思っても、あつと気がついたらねがえりしていたということもあります。チェックは早めに次の時期の分まですませておきましょう。	 タバコや小さなものの誤食  ベッドやプファールからの転落  上物のものにぶつかる
つかまりだちの頃 おすわり はいはい		ハイハイする赤ちゃんの視線は予想以上に低いのです。床やタタミの上には危険物を置いておかないようにしましょう。	 ビーチツなどの誤食  時計  テーブルクロス引き落つてやけど  電熱ポット  箱詰め  玩具・イスからの転落
あるく はしる		子どもの視線の高さにあるものに注意しましょう。子どもは、大人のさわる物をよく見えています。保管する場所にも注意しましょう。	 玩具や洗濯機での転落やおぼれ  アイロフ  ベンチなどから転落  箱詰め  道に出て車にぶつかる
わんぱく おてんば		行動する範囲が広がり、高いところもイスなどを使って上がります。危険な物の保管にはさらに注意をしましょう。	 行動が活発なため大事故になりやすい  交通手段  川のおぼれ

